

令和8年熊本地震 『救援カンパ』実施中

皆さまのご支援、ご協力を
よろしくお願いします

 **連合奈良** (日本労働組合総連合会 奈良県連合会)
〒630-8325 奈良県奈良市西木辻町93-6 エルヒア奈良内

2026年7月28日16時27分頃、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1の大地震が発生し、宇城や八代方面では家屋の倒壊、土砂崩れ、大型施設の損壊など甚大な被害が生じ、その後も余震が続いており多くの方々が避難を余儀なくされています。この地震によって亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

この状況に鑑み、連合も被災者支援を目的として、特別（緊急）カンパを行います。ご協力を宜しくお願い申し上げます。いただきましたカンパ金は、全額を熊本県に対して義援金として送らせていただきます。



私たち労働組合の原点は『支え合い・助け合い』運動です。連合は、組合員がもつ、様々な業種・職種のスキルや知識を活かし、1995年の阪神・淡路大震災を皮切りに、東日本大震災、西日本豪雨、能登半島地震などで救援活動を行い、被災地・被災者に寄り添った支援を続けてきました。また、政府や各政党等に対し、被災者の救援、生活・雇用の対策及び復旧・復興に向けた政策に関する要請行動など必要な取り組みを展開してきました。この度の『令和8年熊本地震』に対しても、10年前に引き続き今回も、緊急カンパを呼びかけ、現地での救援ボランティア活動を実施します。被災した仲間や地域に寄り添い、復旧・復興を支えていきます。

皆さんは、ご家庭や職場で、災害への備えはできていますか。毎年のように発生する地震、台風、豪雨、など自然災害は、年々激甚化・勃発化しています。7月には熊本県で最大震度7の地震が発生し、8月中旬には千葉県を、下旬には福井県を記録的な豪雨が襲いました。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。災害大国と言われる日本では、地震、台風、豪雨など、いつ、どこで起きても不思議ではありません。こうした自然災害は、私たちの暮らしや働く環境を一瞬で奪ってしまいます。だからこそ、日頃から、一人ひとりの備えと、地域や職場での支え合いが大切です。皆さんは、自宅や職場の避難場所や避難経路は確認できていますか。水や食料を備え、家族との連絡方法を決めておくことも必要です。ハザードマップのチェックなど、まずはできるところから備えを始めましょう。働く人の命と安全を守るためには、職場での備えも重要です。避難経路の確保や安否確認のしくみ、出勤や帰宅の判断基準など、災害時の対応について、日頃から労使で話し合っておくことが必要です。

連合ホームページでは
今後、災害関連ニュース、
救援カンパの情報や
災害関連ワークルールQ&Aなどを掲載します。

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kizuna/kumamoto2026/>

